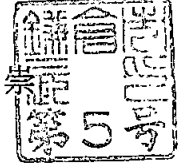


鎌総第3403号

令和5年(2023年)3月31日

鎌倉市議会議長 様

鎌倉市長 松尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

事務担当

総務課総務担当 (内線2242、2243)



議会受付番号	文書質問第 11 号
質問者	長嶋竜弘 議員
答弁する者	市長（健康福祉部新型コロナウイルスワクチン接種担当）

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項の規定に基づく文書質問第 11 号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

現在接種が行われている新型コロナウイルスワクチンは、ゲノム編集の技術を使ったワクチンであるのかを、各メーカーごとにお伺いする。

2 質問の理由

今後の接種事業継続にあたり大変重要な問題であるので。

3 答弁

「現在接種が行われている新型コロナウイルスワクチンは、ゲノム編集の技術を使ったワクチンであるのか」との議員のご質問について、ワクチンの製造元のファイザー株式会社に確認をしたところ、「新型コロナウイルス「コミナティ筋注」「コミナティ RTU 筋注」各製剤は、SARS-CoV-2 起源株及びオミクロン株 BA.1 又は BA.4-5 の S タンパク質をコードするメッセンジャー RNA (mRNA) を有効成分とするワクチンであり、ゲノム編集は行っておりません。」との回答でした。

また、ワクチンの製造元のモデルナジャパン株式会社に確認したところ、「mRNA (メッセンジャー RNA) ワクチンは、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質 (ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質) の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだワクチンであり、ゲノム編集には該当しないと考えております。」との回答でした。